

# 令和5年度 白河市立五箇中学校 学校経営・運営ビジョン

## < 第7次福島県総合教育計画 >

- 「急激な社会の変化の中でも、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人」を育成する。
  - ・「福島らしさ」をいかした多様性を力に変える教育
  - ・福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育

## < 白河市教育大綱「未来を切り拓く人間力の育成」 >

- 【白河市教育委員会重点施策】  
「生きる力と思いやりを育む教育の充実」
- ① 確かな学力の向上
  - ② 豊かな心の育成
  - ③ 健やかな体の育成
  - ④ 郷土の歴史教育の充実
  - ⑤ 特別支援教育の充実
  - ⑥ 幼児教育の充実
  - ⑦ 魅力ある教育環境の整備
  - ⑧ 大学や専門学校等への就学機会の確保

## 教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富み、社会の変化に対応できる知性豊かな生徒の育成

- 【知】 主体的に学び確かな学力を身に付ける生徒
- 【徳】 広い視野を持ち思いやりのある生徒
- 【体】 心身ともに健康で、生き生きと生活できる生徒

～ 学び合い、認め合い、支え合い、高め合う ～

### < 今年度の重点 >

- 自主的な学びの推進と表現力や発信力の育成
- 自己有用感を育み、自主・自律を高める環境づくり
- 互いを認め合い思いやる心の育成
- 家庭学習時間の充実とメディアコントロールの推進
- 愛校心を育てる五箇の特色ある学びを推進

## < 本校の課題 >

- 自主性、自律性、発信力の伸長
- 自己マネジメント力の育成
- コミュニケーション能力の育成と愛校心の醸成

### 【令和5年度の生徒像】

自校に誇りを持ち、自ら正しい判断をして、自ら進んで行動し（学び）、自他を大切に思いやりのある生徒

## < 地域・保護者の願い(学校評価・学校関係者評価より) >

- 返事や明るいあいさつの励行
- ICTを活用した分かりやすい授業の推進
- 家庭学習への取り組みの充実
- 規則正しい生活、時間や規律を守る生活態度の育成
- メディアコントロールの推進
- 積極的な部活動への参加

【教職員の願い】 ○ 自主性・社会性を身に付けた生徒      ○ 困難を乗り越える心や相手を思いやる心の発揮      ○ 勉強・部活動・運動に一生懸命取り組む姿

### 1 主体的に学び、確かな学力を身に付ける生徒(知)

- 主体的な学びの推進とわかる・できる授業を実践します。
  - ・課題解決の意識を高める指導の工夫
  - ・協働的な学びの展開
  - ・学びの成果を自分の言葉でまとめ、伝える工夫
  - ・個別最適化された学びの推進(ICTの活用)
- 学力の定着を図ります。
  - ・週末課題テストを実施し個別指導の充実
  - ・Tタイムの実施(週2回放課後30分間を確保)
  - ・各種検定への取組・個別指導
  - ・学力向上強化週間の設定(Tタイムの拡充)
- NIE推進と学校図書館の積極活用に努めます。
  - ・朝自習時の読書活動の推進
- 家庭学習の充実を図ります。
  - ・ふくしまの「家庭学習スタンダード」の活用

### 2 広い視野を持ち、思いやりのある生徒(徳)

- 望ましい生活習慣を身に付けます。
  - ・あいさつや返事の励行と時と場に応じた言動
  - ・時間やルールを守るなど、自律した行動
- 協力と奉仕、思いやりの心と態度を育てます。
  - ・道徳教育の充実(より良い価値観の醸成)
  - ・生徒会活動や各種行事における体験的な学びによる実践意欲の向上
  - ・地域行事への参加、他施設での体験学習や異年齢集団(幼小)との交流体験(社会性の醸成)
- いじめの絶無を目指します。
  - ・生徒理解の充実(教育相談とSCの有効活用)
  - ・SDGsの理念(差別の根絶)を取り入れた活動の推進
- より良い行動選択を促し、責任ある行動を心がかせます。
  - ・生活の様々な場面における、行動選択の機会の確保
  - ・各自の役割を自覚して取り組める場面の設定
  - ・自尊感情を高める承認と、自己有用感を高める称賛の場面の設定

### 3 心身ともに健康で、生き生きと生活できる生徒(体)

- 体育の充実と体力の向上を図ります。
  - ・体力テストによる課題の把握と指導の重点化
  - ・体力づくり推進計画の着実な実践
  - ・コーディネーショントレーニングの実践
- 特設部活動、部活動合同トレーニングの実施します。
  - ・特設部活動の時期を考慮した練習の実施
  - ・部活動合同の体力向上プログラムの実践。
- 健康・安全な生活を心がかせます。
  - ・各種保健、安全教室等の学びの充実
  - ・生活自己点検表と自分手帳の活用。
  - ・食育の充実(給食センターとの連携)
  - ・保健だより等による、保護者への啓蒙。
  - ・防災教育(震災学習等)の実施
- 家庭・地域との連携と情報モラル教育を推進します。
  - ・学校、家庭、地域での情報の共有
  - ・外部講師等による情報モラル教室の開催
  - ・教科を横断しての情報モラル教育の実践

- 教職員の資質向上・・・研修の機会の充実(校内研修の充実、一人一授業の実践、オンライン研修の活用、小中連携事業の充実、外部講師の活用)
- 信頼され、地域に開かれた学校・・・地域住民や保護者との連携強化(地域の行事への参加、学校開放、積極的な情報発信、積極的な地域人材の活用)、不祥事の絶無